

産業構造審議会産業技術環境分科会産業環境対策小委員会（第8回）
議事要旨

日時：令和2年2月19日（水）10時00分～12時00分

場所：経済産業省別館3階312各省庁共用会議室

出席者

東海委員長、池田委員、漆原委員、梶井委員、梶原委員、木村委員、佐藤委員、竹内浩士委員、竹内純子委員、湊元委員、永田委員、永松委員、光成委員、守富委員、山崎委員
一般社団法人産業環境管理協会 遠藤様、国立研究開発法人産業技術総合研究所 井上様、一般社団法人日本鉄鋼連盟 中村様、普通鋼電炉工業会 田村様、一般社団法人日本鑄鍛鋼会 石坂様

議題

1. 揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組の状況
2. 水銀要排出抑制施設の自主的取組の状況
3. その他の産業環境対策に関する取組状況

議事概要

資料に基づき説明を行い、質疑を行った。委員からは主に次のような発言があった。

- ・ 自然由来のVOCをはじめ光化学オキシダントの発生要因について、科学的知見の更なる充実が必要。引き続き定量的評価に係る調査も進めていただきたい。
- ・ 科学的知見の更なる充実等と平行して、諸外国におけるVOCに係る対応を確認し、国内において適切な対応を検討してはどうか。
- ・ 水銀に関する自主的取組については、自主管理基準の設定、水銀排出濃度の測定、記録、保存、そして公表等、事業者の取組を高く評価する。
- ・ 改正土壤汚染対策法について、わかりにくいとの声がある。引き続き事業者向け説明会の実施等の普及活動をお願いしたい。
- ・ 公害防止管理者制度の海外支援の取組は、ソフト面の支援として良いロールモデルになると認識。引き続き推進していただくとともに、国内外にこの活動を情報発信したらどうか。
- ・ 人材不足等の観点から、産業環境対策の実務を担う自治体や事業者の負担を軽減すべき。届け出や報告等の電子化、公害防止管理者の兼任等が進む仕組みを検討していただきたい。
- ・ 低濃度PCBを含む機器や塗膜等の把握及び期限内処理は今後の大きな課題。リスクに応じた合理的な処理を行う考え方のもと、必要な施策を講じていただきたい。

以上

お問合せ先

産業技術環境局 環境管理推進室

電 話：03-3501-4665

FAX：03-3580-6329